

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 調査の目的

大田区の各行政分野における区民の意向・要望・生活実態を把握するとともに、今後の区政運営や政策立案の基礎資料とする。

2. 調査項目

- (1) 定住性
- (2) 暮らしやすさ
- (3) 緊急対策
- (4) 健康に暮らせるまち
- (5) 社会的包摂の中で安心して暮らせるまち
- (6) 学びやスポーツを通じて誰もが生きがいをもって暮らせるまち
- (7) 身近な場所で水やみどりと触れ合える、潤いとやすらぎのあるまち
- (8) 空港臨海部の特性を活かし、世界にはばたき未来へつながるまち
- (9) 持続可能な国際交流・多文化共生
- (10) 魅力的で住み続けたいまち
- (11) 災害に強く、防犯力の高い地域づくり
- (12) 持続可能な地球環境
- (13) 区政への関心と要望

3. 調査の設計

- (1) 調査地域 大田区全域
- (2) 調査対象 大田区内に在住する満18歳以上の男女個人（外国人を含む）
- (3) 標本数 4,000人
- (4) 抽出方法 層化無作為抽出法
- (5) 調査方法 郵送調査。ただし、回収方法は郵送回収に加え、スマートフォンおよびパソコンを利用した電子申請からの回答も実施
- (6) 調査期間 令和5年5月31日（水）～6月19日（月）
- (7) 調査機関 株式会社エスピー研

4. 回収の結果

- (1) 回収数 2,025人（電子申請544件含む）（回収率 50.6%）
- (2) 有効回収数 2,021人（有効回収率 50.5%）

5. 報告書の見方

- (1) 集計は小数第2位を四捨五入して算出した。したがって、回答率を合計しても100%にならず、1%の範囲で増減することがある。
- (2) 回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数nとして算出した。したがって、複数回答の設問は、すべての比率を合計すると100%を超えることがある。
- (3) クロス集計の図表では、分析軸となる質問(性別、性/年齢別等)に無回答だった人については掲載していない。そのため、各層のnの合計が総数とは一致しない場合がある。
- (4) 回答者数が30に満たないものについては、図示するに留め、この報告書の中では特に取りあげていない場合がある。
- (5) グラフ・数表上の選択肢表記は、場合によっては語句を簡略化してある。

6. 標本誤差について

この調査の基本誤差(サンプル誤差)はおおよそ下記の表のとおりである。基本誤差は次の式によって得られる。標本誤差の幅は、①比率算出の基数(n)、及び②回答の比率(P)によって異なる。

$$b = \pm 2 \sqrt{\frac{N - n}{N - 1} \times \frac{P(1 - P)}{n}}$$

b = 標本誤差
N = 母集団数(大田区の満18歳以上の男女個人)
n = 比率算出の基数(サンプル数)
P = 回答の比率(%)

※後にかかげる表は $\frac{N - n}{N - 1} \div 1$ として算出した。本調査は層化を行っているので誤差はこの表よりやや小さくなる。

たとえば、回答者総数(2,021人)を100%とする比率について、ある質問の回答率が50%で

あった場合の標本誤差を計算すると、 $b = \pm 2 \sqrt{\frac{0.5 \times (1 - 0.5)}{2,021}} = \pm 2.2\%$ となる。

つまり、回答者総数(2,021人)を100%とする比率について、ある質問の回答率が50%の時、大田区民(満18歳以上の男女)の真の値は47.8%~52.2%の間にあると考えられる。ただし、信頼度は95%であるので、95%の確率で間違いないと判断できるという意味である。

nとPを上記の式に代入すれば、必要な標本誤差はすべて計算できる。

標本誤差早見表は下記の図のとおりである。

図1 標本誤差早見表 (信頼度 95%)

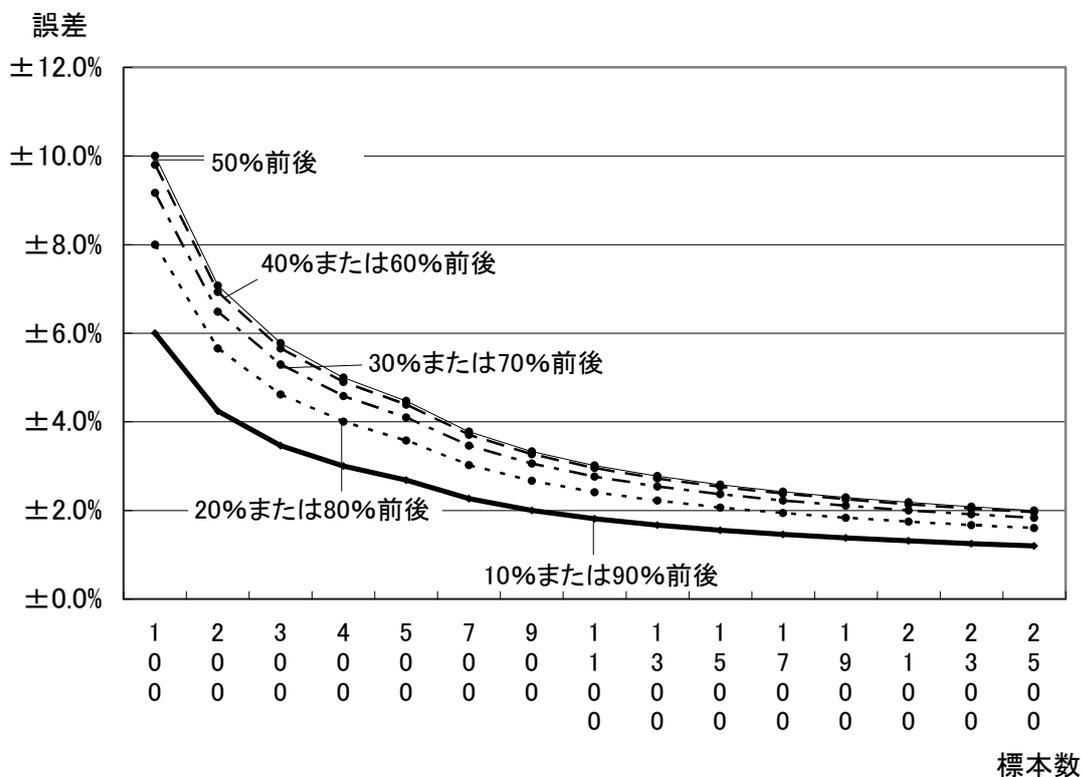


図2 本調査における標本誤差一覧 (信頼度 95%)

回答の比率(P)		基数 (n)	10%または	20%または	30%または	40%または	50%前後
			90%前後	80%前後	70%前後	60%前後	
全体		2,021	± 1.3%	± 1.8%	± 2.0%	± 2.2%	± 2.2%
地域別	大森地域	663	± 2.3%	± 3.1%	± 3.6%	± 3.8%	± 3.9%
	調布地域	517	± 2.6%	± 3.5%	± 4.0%	± 4.3%	± 4.4%
	蒲田地域	559	± 2.5%	± 3.4%	± 3.9%	± 4.1%	± 4.2%
	糎谷・羽田地域	184	± 4.4%	± 5.9%	± 6.8%	± 7.2%	± 7.4%
性別	男性	817	± 2.1%	± 2.8%	± 3.2%	± 3.4%	± 3.5%
	女性	1,114	± 1.8%	± 2.4%	± 2.7%	± 2.9%	± 3.0%
性／年代別	男性10・20代	94	± 6.2%	± 8.3%	± 9.5%	±10.1%	±10.3%
	男性30代	75	± 6.9%	± 9.2%	±10.6%	±11.3%	±11.5%
	男性40代	163	± 4.7%	± 6.3%	± 7.2%	± 7.7%	± 7.8%
	男性50代	143	± 5.0%	± 6.7%	± 7.7%	± 8.2%	± 8.4%
	男性60代	141	± 5.1%	± 6.7%	± 7.7%	± 8.3%	± 8.4%
	男性70歳以上	200	± 4.2%	± 5.7%	± 6.5%	± 6.9%	± 7.1%
	女性10・20代	122	± 5.4%	± 7.2%	± 8.3%	± 8.9%	± 9.1%
	女性30代	138	± 5.1%	± 6.8%	± 7.8%	± 8.3%	± 8.5%
	女性40代	215	± 4.1%	± 5.5%	± 6.3%	± 6.7%	± 6.8%
	女性50代	221	± 4.0%	± 5.4%	± 6.2%	± 6.6%	± 6.7%
	女性60代	157	± 4.8%	± 6.4%	± 7.3%	± 7.8%	± 8.0%
	女性70歳以上	258	± 3.7%	± 5.0%	± 5.7%	± 6.1%	± 6.2%

7. 調査対象者の抽出

- (1) 母集団 大田区内に在住する満18歳以上の男女個人（外国人を含む）
(令和5年4月1日時点)
- (2) 抽出台帳 大田区住民基本台帳
- (3) 標本数 4,000人
- (4) 抽出法 層化無作為抽出法
- (5) 地域区分 区内を、4地域（大森、調布、蒲田、糀谷・羽田）に分類し、それぞれを層とした。

地域名	所管区域
大森地域	大森東特別出張所管内、大森西特別出張所管内、入新井特別出張所管内、馬込特別出張所管内、池上特別出張所管内、新井宿特別出張所管内
調布地域	嶺町特別出張所管内、田園調布特別出張所管内、鶴の木特別出張所管内、久が原特別出張所管内、雪谷特別出張所管内、千束特別出張所管内
蒲田地域	六郷特別出張所管内、矢口特別出張所管内、蒲田西特別出張所管内、蒲田東特別出張所管内
糀谷・羽田地域	糀谷特別出張所管内、羽田特別出張所管内

図3 地域図



- (6) 標本数の配分 各地域における18歳以上の人口（令和5年4月1日現在）に応じて標本数を比例配分した。
- (7) 対象者抽出 1地域ごとに、「(6)」で設定した標本数を無作為抽出した。

以上の結果、地域別の標本数及び有効回収数は次のとおりである。

地域名	18歳以上人口(構成比)	標本数	有効回収数(率)
大森地域	213,876 (33.4%)	1,336	663 (49.6%)
調布地域	162,977 (25.5%)	1,018	517 (50.8%)
蒲田地域	194,493 (30.4%)	1,215	559 (46.0%)
糀谷・羽田地域	69,011 (10.8%)	431	184 (42.7%)
無 回 答			98
合 計	640,357 (100.0%)	4,000	2,021 (50.5%)

